



循環型農業支援プロジェクト



Philippines

キャッサバ植栽やエリ蚕養蚕を通し、
持続的な地域社会の構築を支援しています。



プロジェクトサイト、パラワン島は緑豊かな島であると同時に、同国の中でも最も開発の遅れた地域とされています。その地域で生計を営む地域農民や漁民の人たちにとって、生活の糧を得るために森林伐採や焼畑農業に従事する人たちも多いとされています。地域の持続的な社会基盤の構築を目指し、エリ蚕養蚕の技術協力やキャッサバ植栽などを行い、環境保全を図っています。



左上) 地機(じばた)を使った糸紡のトレーニング
右上) すくすくと育つエリ蚕
下) カヤサン村のキャッサバ

➔ 2005年度の活動

**先住民族のバラック族などを対象に、
エリ蚕養蚕などのトレーナーズ研修を行いました。**

サポーターであるタグバライ財団の協力のもと、パラワン島の首府プエルトプリンセサ市で、2005年にエコカード基金が設置した地機(じばた)を使用し、糸紡ぎや編み物などのトレーナーズ研修を開催しました。当研修会でエリ蚕養蚕などの技術を学んだトレーナーが、他のプロジェクトサイト、港町のポートバートンやバラック族が住むカヤサン村で研修会を実施しています。

➔ 今後の活動

活動期間が短いポートバートンやカヤサン村では、エリ蚕養蚕や糸紡ぎに着手し始めたばかりであり、定期的な技術支援を継続し、「売れる」製品づくりを目指します。さらに、販売流通網の確保も模索します。